

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3890100104		
法人名	社会福祉法人 ともの家		
事業所名	アンジュールともの家		
所在地	松山市溝辺町甲94	(電話)	089-977-8502
管理者	福井 敦子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成21年2月25日	評価確定日	平成21年3月30日

【情報提供票より】 (平成21年1月23日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年4月27日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.2人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	41,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(100,000 円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 500 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成21年1月23日現在)			
利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	4 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86.7 歳	最低 73 歳	最高 97 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

公園や近くの法人内グループホームを訪ねたり、職員とともに犬の散歩をされる方もいる。お花見等、季節を楽しみに外出されることもある。
 調査訪問時の昼食時、職員は利用者の行動を止めることなく、食事に気が向くように声をかけておられた。又、トイレへ誘う際にも小さな声で声かけされていた。
 法人内で委員会や研究会を作っておられ、すべての職員は何らかの会に属し、自発的な研修に取り組まれている。「調理研究会」では、ソフト食の研究をされ、見た目も良く、食べやすい調理方法を考えられた。「入浴委員会」では、職員が入浴体験をし、声のかけ方やタオルの堅さ等、気付きをケアに反映されている。

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この一年間、職員個々でその日の目標を立て、一日を取り組み、ケアプランに基づいて行っているか振り返るような仕組みを作られた。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員で自己評価に取り組み、ホーム長と管理者がまとめられた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月毎に、運営推進会議を行い、事業所を見学いただいたり、日頃の取り組みを報告され、出席者の意見やアドバイスをいただいている。又、昨年11月、併設のデイサービスが小規模多機能施設に移行したことに伴い、サービスの内容について説明された。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所主催の「グループホームの看取りについて」のシンポジウムも、ご家族からいただいたご意見をきっかけに開催された。法人全体での「家族の会だより」は、毎月ご家族が自主的に発行されており、各事業所の様子や利用者の暮らしぶり等が載せられている。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所主催のバザーやロビー展には、地域の方達も多く参加いただいている。散歩時、小学生との交流もあり、利用者の誕生会には手作りのカードを届けてくれることもある。時には、利用者は子ども達の見守り隊として、職員とともに通学路に立たれることもある。事業所に認知症の相談に来られる方もいる。利用者が一人で歩いていると知らせてくれることもある。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アンジュールともの家

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

福井 敦子

評価完了日

平成 21 年 2 月 25 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 利用者サービスの基本方針の中で「家族・友人・地域との交流を大切に、社会性の維持・回復に努める」とかかげている。地域に向けたロビー展を年4回実施し、地域のグループや小学生・中学生の作品を展示した。又、そのグループがステんシルを教えに来て頂いたりと交流につながった。夏祭りに地域の子どもの参加があった。 (外部評価) 事業所では、基本理念と運営の4つの方針を掲げ、ご家族、友人、地域の人達と交流しながら暮らし続けることを支援することを理念に掲げておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 運営理念と基本方針を目につきやすいところに掲げ、これを念頭において、日々の介護をおこなっている。職員研修や職員会議の場で振り返りの機会を設け、月目標もあげ日々の介護の振り返りをしている。 (外部評価) 利用者が書かれた事業所の理念が掲示されていた。職員は、ケアに困った時等、理念に立ち戻り、確認しながら取り組むようにされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 広報を家族や地域の方に送り、理念・活動を報告することで理解してもらえるよう努めている。又、家族の会の会報にも地域の中で暮らし続けることを大切にしている取り組みを紹介していただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		<p>隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>(自己評価) 回覧板を回し、言葉を交わしている。近くのスーパーや理美容店利用等日常的な交流を行い、バザー・ロビー展のポスターを貼って頂いている。近所の子どもたちが日常的に遊びに訪れ、誕生日にはカードを届けてくれた。</p>		
5	3	<p>地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>(自己評価) 自治会に加入しており、行事・イベントに地域の一員として地元の人と交流することに努めている。市民大清掃など、地域の方と一緒にいき、交流を深めている。地域の防災訓練に参加をしている。年間4回バザー・ロビー展を開催し、軽食等の喫茶コーナーを行い、地域の方にも好評である。</p> <p>(外部評価) 事業所主催のバザーやロビー展には、地域の方達も多く参加いただいている。散歩時、小学生との交流もあり、利用者の誕生会には手作りのカードを届けてくれることもある。時には、利用者は子ども達の見守り隊として、職員とともに通学路に立たれることもある。事業所に認知症の相談に来られる方もいる。利用者が一人で歩いていると知らせてくれることもある。</p>		
6		<p>事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 地域の介護相談を行っている。近隣のトラブルの緊急相談を受けたこともある。小学校の登下校の見守り隊に登録し、活動をおこなっている。ロビー展で小学生・中学生の作品展示をおこなっている。</p>		災害等の緊急避難場所ともなりたい
7	4	<p>評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 外部評価の受診を日々の実践の振り返りの時ととらえ、自己評価を行っている。指摘を受けた点については話し合いの場を持ち改善に努めている。</p> <p>(外部評価) 全職員で自己評価に取り組み、ホーム長と管理者がまとめられた。この一年間、職員個々でその日の目標を立て、一日を取り組み、ケアプランに基づいて行っているか振り返るような仕組みを作られた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			推進会議で出された意見を職員等で話し合い、課題を共有してサービスの向上に生かしている。バザー・ロビー展の案も出している。		
			(外部評価)		
			3ヶ月毎に、運営推進会議を行い、事業所を見学いただいたり日頃の取り組みを報告され、出席者の意見やアドバイスをいただいている。又、昨年11月、併設のデイサービスが小規模多機能施設に移行したことに伴い、サービスの内容について説明された。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			10月5日当法人が中心となって開催したシンポジウム「グループホームでの看取りを考える」に介護保険課より出席があり、意見交換を行った。		
			(外部評価)		
			法人主催のシンポジウムに市の担当者も参加いただき、看取りについて意見交換をされた。管理者は、包括支援センターや市社協の依頼を受け、地域公民館等で認知症についてのお話しをされた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修会などで制度についての知識を深めている。支援の必要性を関係者と話し合い、いつでも活用できるようにしている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			職員全員が虐待に対して人権侵害であるとの意識をもって防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用相談があった時は時間をかけ、施設見学、体験入所などお勤めし慎重に対応している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族の来訪も多く、その機会にご一緒にお話をうかがうようにしている。日常の会話の中から、意見、不満などお聞きしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 各担当者が毎月「今月の生活の様子」を書き、費用請求時同封している。定期的に「ともの家だより」を発行し、事業所の取り組みや利用者の様子を報告している。家族の来訪時には、個人の記録等を見ていただきながら、暮らしぶりをはなしている。		
			(外部評価) 担当職員が、毎月一人ひとりの利用者の生活の様子をお手紙で報告されている。又、家族の会、家族懇談会等や法人の「ともの家だより」では、研修内容や利用者の暮らしぶり、新人職員の紹介等をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議や家族懇談会を開催している。看取りに対するアンケート等を行い、意見を出していただける機会を設けている。又、家族の会があり、懇談会等で意見を聞く機会を設けている。		
			(外部評価) 事業所主催の「グループホームの看取りについて」のシンポジウムも、ご家族からいただいたご意見をきっかけに開催された。法人全体で家族会があり、毎月自主的に「家族の会だより」が発行されており、各事業所の様子や利用者の暮らしぶり等が載せられている。		今後も、ご家族の心配ごとや不安なこと等、たとえば、重度化した時のことや看取りについて、又、職員の入れ替わり等について等、ご家族の心情も踏まえ話し合いを重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会議、職員研修会等で意見を聞き運営している。管理者が個別面接を行い、職員の意見を聞く機会を設けた。又、年度末に職員提言メモを提出してもらい、反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状況、状態の変化に応じて必要な時間帯に職員を配置したり勤務の調整に努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職や異動については、入居者へのダメージが最小限となるよう新職員の配置を考えている。又、新旧職員の交代がスムーズにいくよう引継ぎ、実習期間をダブルキャストで組んでいる。		
			(外部評価) 職員の入れ替わりの際には、引き継ぎをされ、実習期間を設けておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 委員会（研修・広報・地域交流）研究会（調理・排泄・入浴）を作り、職員が自発的に運営を行い、年間2回取り組みを発表した。研修委員会が企画し、年間を通した職員研修を新人・中堅・リーダー別に行った。		
			(外部評価) 法人内で委員会や研究会を作っておられ、すべての職員は何らかの会に属し、自発的な研修に取り組みされている。「調理研究会」では、ソフト食の研究をされ、見た目も良く、食べやすい調理方法を考えられた。「入浴委員会」では、職員が入浴体験をし、声のかけ方やタオルの堅さ等、気付きをケアに反映されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			近隣3施設で企画し、シンポジウム「グループホームでの看取りを考える」を行った。他グループホーム等への呼びかけで104名参加があり、意見交換を行った。参加が出来なかった職員は、ビデオ研修をおこなった。近隣グループホーム交流会も参加し、意見交流を行った。		
			(外部評価)		
			管理者は、近隣のグループホームが集まる連絡会や地域ケア会議等に参加されている。時々、近くの法人内グループホームへ利用者と職員で訪問されている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員互助会による職員の歓迎会や忘年会を持ち、親睦を図っている。又、随時個人面談を行い、悩み、相談事を聞いている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			管理者が職員と面接を行い、一人一人の目標を決め、意欲をもって働けるように努めている。資格取得や全国大会等での研究発表の応募を奨励している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前に何度か話し合い、出来るだけ求めていることを聞き出せるよう努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前に何度か話し合い、出来るだけ求めていることを聞き出せるよう努力している。十分に聞く機会もっている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) まず必要としている支援を見極め対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 通いで様子を見たり、あるいはご家族と一緒に体験宿泊を試みてからの入居など、いろいろな対応を工夫している。入居されてからしばらくは環境の変化に慣れるよう、ご家族の方に泊まって頂いたり他の入居者の方とも馴染めるよう声かけをし、関わっている。 (外部評価) 併設施設を経て入居に至る方等もある。ご本人、ご家族ともに体験宿泊をされる等、納得してサービスが利用できるようすすめておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 入居者は人生の先輩だという認識を職員全員がもっており、折に触れ意見を伺い、食事作りなどは監督兼味見をお願いしている。時には働く態度や心構えについてアドバイスしていただくこともある。 (外部評価) 職員は、利用者から働く態度や礼儀作法等について教わったり、調査訪問時、職員とともに童謡の本を見ながら一緒に歌っておられる姿がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族をケアパートナーとして位置づけている。ご家族の思いを大切に、一緒に過ごす時間を持っていただいている。毎月のお掃除デーには家族も参加していただいたり、ロビー・バザー展も家族の会との協賛でおこなっている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族と外出や外泊など日常的に行われており、遠足やイベントなどの行事にも家族の参加を募り、家族との関係を大切にしている。センター方式のシートを導入し、本人と家族からできるだけ情報を得て本人とご家族の理解を深めよりよい関係となるよう支援している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族とともに故郷訪問したり、馴染みの人にホームに来ていただいている。馴染みの場を訪れる機会もご家族の協力を得て作っている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 誕生会には色紙にお祝いの言葉を書き贈呈、祝辞のスピーチ、歌などともに暮らす喜びを感じている。また日常の中でも一緒にできる作業やゲームの機会を作っている。胃ろうで居室にほとんど過ごされている方にもリビングで昼食を摂っていただいて利用者同士の関りを大切にしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院により退去されたご家族やなくなられた方のご家族が遊びに来られることがある。ともの家だよりや、各行事の案内を送付し、いつでも気楽に着ていただける関係を継続する。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 入居時と入居後は随時本人又はご家族と話をして把握するよう努めている。センター方式のアセスメントシートを利用し、集めた情報はスタッフ間で共有できるようにファイルしケアプラン立案時などに行かせるようにしている。</p> <p>(外部評価) 事業所では、ご本人、ご家族と日々の暮らし方についての希望や意向について話し合っておられる。又、意見が出しにくい方には、ご家族の声や日々の暮らしの中から、その人の思いを把握できるよう努めておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) ご本人やご家族にお聞きし、アセスメントシートを作成し、スタッフ間で情報を共有できるよう個人別にファイルしている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 日々の暮らしの現状を観察し、記録に残す。また申し送りを綿密に行い、職員間で連絡をとれるようにしている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ご家族をケアパートナーと位置づけ、ケアカンファレンスにも参加してもらい、意見等をだしていただいている。介護計画を「幸せ計画」と捉え、生活歴を踏まえた利用者主体の介護計画を立てている。</p> <p>(外部評価) センター方式のアセスメントシートを用いて、利用者個々の思いを探り、利用者のより良い暮らしを支えていけるよう、ご家族にもケアカンファレンスに参加いただき、話し合いながら介護計画を作成しておられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
				3ヵ月後との見直しを基準とし、見直し以前に変化が生じた時は新たな計画を立て支援している。	
			(外部評価)		
					介護計画は、3ヶ月ごとに見直しをされ、状態変化時には随時、見直しをされている。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
				日々の記録を書く時にケアプランが常に確認できるように工夫を行い記入し、介護計画の見直しに生かしている。	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
				本人、家族の状況、その時々要望に応じて外出・受診・ご家族の泊まりなど柔軟に対応し支援している。又、併設の小規模多機能の行事に参加するなど柔軟な対応をしている。	
			(外部評価)		
					ご本人、ご家族の希望を大切にされ、ふるさと訪問や外泊ができるようすすめておられる。馴染みの美容院に行かれる方や訪問理容を利用される方もいる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要に応じて警察、消防署、小学校、中学校、ボランティア、民生委員の協力を得ている。見守り隊として地域に貢献できる役割もいただき、満足している。		
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	家族の意向により、小規模多機能のレクリエーションやクラブ活動に参加している。		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域ケア会議、近隣グループホーム交流会、地域推進会議等で意見を頂きながら支援している。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれ本人や家族の希望に添ったかかりつけ医を選んでいただき、それぞれと連絡をとりながら関係を築き、個人に合った適切な医療を受けられるよう支援している。医師からのアドバイス等は医療情報として記録している。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(外部評価) ご本人、ご家族の希望するかかりつけ医を決めておられ、定期的な訪問診療や利用者の状態に応じて往診も受けておられる。医療機関からの情報は記録され、ご家族への報告も密にされている。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	各人の必要に応じて、協力医療機関の精神科医を受診し、相談や治療を受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ホームには通常週3日看護職員が勤務し健康管理に当たっている。緊急時には24時間相談できる体制をとっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 認知症という病気をかかえての入院となるため、病院関係者、ご家族と情報交換し安心して過ごせるためと退院について十分な相談を行い、連携している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 管理者、看護職員が中心となり、話し合いを持ち、状況に応じて医師と連携し、支援している。今年度は看取りについてのシンポジウムを行い、家族、職員にアンケート調査を行い学びを深め全員で方針を共有している。 (外部評価) 重度化や終末期のあり方について、ご本人、ご家族と入居の際に「看取りに関する指針」に沿って説明されている。その後は、折に触れて話し合い、ご本人、ご家族の考えを踏まえ、かかりつけ医、管理者、職員で話し合われている。		看取りのシンポジウムを通して、利用者個々が「その人らしい最期」を送れるように、全員で方針を共有していこうとされている。終末期のあり方については、ご本人ご家族も不安なことでもあり、今後も話し合いを続けていかれてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 看取りについてのシンポジウムの中で、訪問診療で看取りの支援をされている先生にお話を聞く機会があり、学びを深めることが出来た。又、かかりつけ医には職員研修の中で指導を頂き、今後の変化に備えている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) リロケーションダメージについては、ご家族及び本人に関わる関係者間とで十分に話し合い、なじみの家具・品の持ち込み、住み慣れた居室作り、雰囲気などダメージを防ぐ工夫や、配慮をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) ともの家の接遇態度、援助のチェックポイントで明示し職員はそれに基づき一人一人の思いや言動を大切にされたサービスの提供を行っている。個人情報については家族以外への公開はしていない。</p>		
			<p>(外部評価) 調査訪問時の昼食時、職員は利用者の行動を止めることなく、食事に気が向くように声をかけておられた。又、トイレへ誘う際にも小さな声で声かけされていた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 自己決定の場面を作り出し、本人の意向、希望を大切にしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 生活面すべてにおいて一人一人のペースを尊重し、暮らしの主体者として入居者が自由に自分らしく生活できるように援助している。</p>		
			<p>(外部評価) 昼食後、居室で過ごされる方やソファでくつろいでおられる方がうかがえた。時には、リビングの畳のコーナーで横になる方もおられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 個性を大切にしながら洋服を選んで頂いていたり、整容に気をつけている。外出時は普段よりおしゃれに心がけている。本人のいきつけの店に行っていてほしい。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一緒に食事をし、お話をしたり音楽を聞きながら食事をしている。出来る方には準備、後片付けを手伝っていただいている。 (外部評価) 利用者は、調理の下ごしらえや味見、後片付けや食器拭き等されている。その人の状態に合わせて低い椅子とテーブルが用意されており、職員もその場で一緒に食事をされていた。又、胃ろうの方も皆と同じ場所での食事の時間となっていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 入居時に頂いてる情報をもとに、また日々の中での本人からの情報を下に、一人一人の嗜好に合った食事を提供している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 全職員が排泄パターンを把握しており、入居者に合わせたトイレ誘導を行っている。昼間はできるだけ布パンツにして自立に向かった支援をするとともにその方に合わせた排泄用具を検討し使用している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入居者の希望やペースにあわせてくつろいだ入浴を心がけている。入浴委員会が中心となり、職員が入浴体験を行い、気持ちのいい声掛けやタオルの工夫をおこなった。		
			(外部評価) 現在、利用者の希望に合わせて週2～3回、午後の入浴となっている。シャワーチェアの利用や柔らかいタオルを使用する等、職員で話し合い、利用者が安心して入浴できるようすすめておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中運動や活動の場をつくり、又日光浴や外気浴を心がけ、夜安眠できるよう支援している。入居者が落ち着けるようにソファや畳で寝転んだり、心身を休めるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) ひとり一人出来ること、出来ないことを把握し、もてる力を発揮していただく支援をしている。		
			(外部評価) お掃除や野菜の植え付け、水やり、かるたの読み手等、利用者一人ひとりが活躍出来るような場面作りをされている。ご自分の好きなおやつを買いに出かけ、支払いもご自分でされる方もいる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 管理不可能な方も多いが可能な方にはご家族と話し合いお金を持っていただいている。近所のなじみの店に毎日のように行かれ、欲しい食品を購入され、代金はご本人の財布から店員さんが取っていただく方法でかいものを楽しませている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			本人の希望に添い、いつでも外出できるように支援している。希望を表明されない方には声かけしてお誘いしている。玄関先のテラスでの食事やお茶、又近くの公園への散歩など日常的に行い、近隣のグループホームにも行っている。		
			(外部評価)		
			公園や近くの法人内グループホームを訪ねたり、職員とともに犬の散歩をされる方もいる。お花見等、季節を楽しみに外出されることもある。		職員は、利用者の希望を聞きながら、喫茶店等にも出かけてみたいと話しておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			春の花見・春と秋の遠足・菊花展など季節を楽しんだ小旅行、ドライブに出かけている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			いつでも利用できるよう支援している。希望者には居室に電話を持ってきていただき、家族との会話の支援を行っている。手紙が来たときには返事をだすよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族や知人がいつでも訪問できるように、快く対応し希望されれば、食事の用意も行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関に鍵をかけないなど拘束はいっさい行っていない。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間施錠のみ。日中は鍵をかけず、自由に出入りできるようになっている。 (外部評価) 玄関は、夜間以外、いつでも自由に出入りできるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 所在確認を心がけ、職員相互に声かけし、さりげなく見守りを徹底している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 薬品に関しては手のどかないところにおいておくようにしているが、その他は排除してしまうのではなく、危険でないよう入居者の動きをさりげなく見守っている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故をなくすための職員研修を行うとともに、起きてしまった事故については事故報告書を作成し、職員会議等で分析を行い、再発防止策の徹底をしている。場面を想定した防火訓練も実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) かかりつけ医による急変時の対応等の研修をおこなった。又、スタッフの中に看護師がいるので常日頃より応急手当の研修をうけている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に場面を想定した防災訓練をおこなっている。 (外部評価) 運営推進会議での意見を踏まえ、ご家族、地域の方達にも参加いただき避難訓練を実施された。		今後地域の防災訓練に参加したいと考えている。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 多動による転倒など、一人一人に起こりうるリスクについて家族に説明し、抑圧しない暮らしを大切にした対応策について話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 異変が見られた時にはすぐに連絡し、対応を相談している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人の薬袋に処方されている薬名を書き、職員はその都度把握している。また、薬の副作用や用法については看護師を中心に打ち合わせ等で確認し、症状の変化の確認に努めている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳・ヨーグルト・ハブ茶・アロエなどその人に合わせたものを試みている。水分の取りにくい方にはゼリーとして水分補給ができるように工夫し、自然排便に努めている。又、午前中の活動も心がけている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の歯磨き、うがいをしていただいている。利用者の状態にあわせて義歯の手入れを一人一人にあった道具でしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個人にあった食事量の把握をし、量が確保できない方に関しては補食をしていただいている。また、カリウム制限のある方に対しては、代替食を用意している。水分チェック表で毎日の水分摂取量を把握している。		
			(外部評価)		
			カリウム摂取に気を付ける必要のある方には、温野菜にされたり、デザートのリントは柔らかく煮ておられた。利用者の状態によっては、一回の食事を少なくして、数回に分けて食事をされる方もいる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 研修会で感染症に対する学習を行い実行している。手洗い・うがいの励行（食前・外出後・職員出勤時）外来者にたいしてもマスクの着用の呼びかけなどおこなっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>常に清潔に努め、使用した道具の消毒等行っている。食材は旬のものを使用し、新鮮なものを提供している。</p>		
<p>ウ</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>道路から高い位置にあるため玄関にいたるまで上り坂がある。勾配が急であるため手すりをつけた。秋はコスモス春はパンジー等四季折々の花を植え、犬たちも玄関で出迎えている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>テーブルには花を活け、食事時には一人一人にランチョンマットを敷き、時間に合わせた音楽を流すなどの工夫をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関、リビング、廊下のスペースを広く取り、季節のお花やおひな様が飾られていた。トイレには「厠」と表示されていた。畳のコーナーには、いつでも横になれるようにベットが設置されている。廊下にも椅子を置いておられた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングの各所にコーナーを設け、居心地の良い場所作りをしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			家族と相談し本人が落ち着け居心地良く過ごせるよう、ラジオ、画集、仏壇、椅子、机などそろえて工夫している。又、部屋に家族の写真や思い出の写真を貼っている。		
			(外部評価)		
			使い慣れた鏡台やラジオ、テレビ、仏壇、椅子、机等が持ち込まれていた。ご家族が生けたお花が飾られ、お誕生日の色紙やご主人のネクタイも飾られていた。料理やお菓子等のレシピをスクラップした「お宝ノート」やスケッチブック、色鉛筆等もあり、ご自分で描いた絵が飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気は時間を決めてこまめに行い、季節に合わせて空調の調節をし、快適に過ごせるよう支援している。		
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			トイレ、浴室、廊下などは必要なところに手すりを取り付け、適切な椅子を置いている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			浴室、トイレには見分けられるようなのれんやプレートを居室には表札をはっている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			外周りに花を植え、季節を感じられるようにしている。野菜畑も作り、入居者とともに育て、収穫の喜びも共有している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	センター方式のアセスメントシートを使いケアプラン作成にいかしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	声のトーンや音に注意し、雑音とならないよう心がけて穏やかにゆったりと暮らしている。暖炉を囲んで団らんしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれの個性的なペースをもたれており、そのペースが尊重されている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	かかわりで、笑顔が生まれ多くの言葉が引き出されている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	時間や天候に注意しつつ出来るだけ戸外で過ごし、戸外がもたらす効果を十分に満喫している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	服薬管理と定期受診、看護師による医療相談などにより、不安なく過ごされている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人のペースや意向が尊重され、無理強いされない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	信頼関係ができおり、なんでも相談されている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	ご家族の方々の訪問がある。知人や友人はときおり訪ねにきている。ご近所の子も達が遊びに来ている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	ロビー展に地域の方が出品される、ストーブの炊きつけを譲ってくださるなど少しずつ増えている。
98	職員は、生き活きと働いている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が ① 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者のことを考え、何をしたらいいかを考えながら生き活きと働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が ① 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ゆったりと自由に暮らされているようで、会話や発語がおおくなっている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が ① 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	職員の名前もおぼえてくださり、気楽に相談もされ、何かにつれ協力して下さっている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

ああアンジュールともの家のアンジュールとはフランス語で一日という意味です。いつかは来る別れのその時まで、一日一日が満ち足りた「日々是好日」の時間でありたいとの願いをこめています。本人の意向や家族の思いを大切に、新しい出会いも楽しみながら人生を生き切りたいものと思えます。そんな願いを込めて、スタッフがその日なにをしたいかを考え目標をもって出勤しますそれを今日やりたいことのシートに書き、一日の終わりに自己評価をして次につなげるようにしています。開設4年目を迎え入居者の方たちは重度化され、今後は重度化された方々のケアについて考えていかなければならない。今年度はその取り組みのひとつとして、家族の会からも声があがりターミナルケアについて考えるシンポジウムを開催し、職員の学びの機会としました。「介護の質は職員の質によって保証される」という理念のもと成長し続ける集団でありたいと思えます。